



東陽の旋風^{かぜ} ～自立貢献～

令和4年12月23日（金）No 33 発行
文責：松本 卓也

限界突破 ～挑め！自分との本気の勝負～

20日（火）、校内持久走大会を開催しました。前日までの厳しい寒さが和らぎ、時折日差しも照りつける等、絶好のコンディションでした。開会式の後、まずは女子の部がスタート！！代表女子800mで県中体連陸上競技大会に出場した3年生のOさんを先頭に、氷川沿い周回コースを駆け抜けます！2年生のIさんが追いかけてますが、そのまま1位でゴールしました。続いて、男子の部がスタート！！互いの意地がぶつかります！最後は、1年生Mさんがリードを広げ、ゴールテープを駆け抜けました。苦しくてもラストスパートで全力を出し切る姿や、仲間を懸命に応援する姿がいろいろな場面で見られ、子どもたちの“一生懸命さ”に感動しました。また、体育委員会の子どもたちが、大会運営だけでなく、準備や片付け（トイレ清掃等）も率先して行ってくれました。今年度掲げている学校教員目標「スロガ育委員会」の自立貢献を体現してくれました。S委員長、K副委員長を始め今回の校内持久走大会は例年以上に保護者の方の応援が多く、子どもたちの大きな力になりました。交通安全指導で協力いただいた保護者の皆さま、ありがとうございました。



令和4年度東陽中学校持久走大会

限界突破
～挑め！自分との本気の勝負～

日時：令和4年12月20日（火）
・女子の部14時50分スタート
・男子の部15時10分スタート予定



東陽中の未来を託す ～生徒会役員選挙～

16日（金）午後、令和5年度生徒会役員立会演説会が行われました。私たちの代表として、東陽中の未来を託すリーダーを選ぶ選挙です。立会演説会では、「生徒全員が自分で物事を考え、考えたことを実行できるような学校にし、学校生活を充実させていきたい」、「課題である挨拶の大きさや先輩、後輩の上下関係を改善していきたい」等、力強い抱負を述べてくれました。投票の結果、4名全員が信任されました。自らの学校を自分たちでつくる！先輩方の思いを受け継ぎ、さらには東陽中学校を創ることを期待します。



笑う門には福来たる ～門松づくり～

17日（土）、地域にお住まいのN様を始め、3名の方にご指導頂き、門松づくりを行いました。材料の調達や竹の切り出し等、慣れた手つきでチェーンソーやナタを操るお二人の見事な手さばきに、私も見入ってしまいました。作業の合間には、門松の由来や意味についても教えていただきました。門松は、新年を迎える際に年神様を迎えるための拠り所と言われており、平安時代頃に始まった風習だそうです。ご指導頂きました地域指導者皆様、お手伝い頂きました3年保護者の皆様、ありがとうございました。切り口を笑い顔に、来年もたくさうご福（幸）がやってくると思います。



【編集後記】令和4年（2022年）の終わりに・・・

▼明日から冬休み。2022年も、あと8日で終わります。今年も、新型コロナウイルスとの闘いや、世界の至る所でたくさんの悲しみや苦しみがありました。それでも、みんなの知恵を出し合い、ともに解決を目指した年でもあります。東陽中でも、子どもたちは、我慢や制限のある中でも、やるべきことをやり、仲間と協力しながら、自分を高め、成長してくれました。▼来年2023年をどんな年にするのか？子どもたちには、自分のやりたいことや夢を考へるよう終業式で伝えました。一度きりの人生、自分の夢に向かって、どんどん挑戦して欲しいと願います。▼保護者の皆さまには、さまざまな教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。来年も、皆さまにとりまして良い年になりますようお祈り申し上げます。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）